

出  
 箱根突  
 乃

市藏などやうな町家ともあつたを、ある田むろ川  
 へんたの山中におん大久保などのもも様  
 はさうかん陶板殿中を井と大のを宿り分曉  
 中むろへん金とや川ものりおまやのせあひや

大山人大怪歌ぞうりうとんけん様とのきんえん

[illegible]

六百九十九

アルをさへくはむと答ふに早門

諸多ありしかば人の心も文も亦た

あづみは月夜やうとし  
あまぐく

そんを細く大あきこにすくぐの玉

三ノ目 又中に入る

[illegible]

即やあり  
 是れは二一  
 まゝぬづ  
 ぬづ

でいのり様  
おゆうきさん  
ごきんざい

糸う 糸うぶち かん 糸 西井 望る

いさゝか山のもちくちきとのふ

人爲之  
力未  
知是  
否

と道より甲斐分への上の桑林寺に下

あざろ市川がど川は身がふしあふ

ふくろふくろまの電中へうとまは

新もんを焼く井戸の者のやうさじ

卷八 七 七

石之乳流吾男

This image shows a vertical strip of aged, textured paper, possibly a book cover or endpaper. The paper has a mottled, yellowish-brown color with visible fibers and some darker, irregular staining or foxing, particularly along the right edge. The texture appears slightly rough and uneven.

A vertical strip of aged, yellowed paper with a torn edge, showing signs of wear and discoloration. The paper has a mottled texture with various shades of yellow and brown, and a jagged, irregular right edge. It appears to be a fragment from an old document or book.



以て十月迄を専ら討ちつゝ候集日  
 大抵せん大陣をぞとて大いなる  
 多きよりたゞ一太つあゝ  
 かくあぐされんをいぢりふ  
 あれせんすうあきとせん  
 せんそうせんせんせん  
 何うと人かゆくを代り候ふ  
 せんたいとせんを能くさう  
 いふ一人あづかるといふ  
 づかあうとさきとさす





001188250  
東京大学図書

張子  
卷之四

中世の政治思想  
中世の政治思想は、神聖ローマ帝国の皇帝が、  
教皇の承認を得なければならなかった。これは、  
世俗権と宗教権の分離を示している。また、  
中世の政治思想は、封建制度に基づいており、  
領主と臣属の間の相互の義務関係が中心とな  
っている。この関係は、領土と臣民の交換を  
通じて維持されていた。中世の政治思想は、  
現代の政治思想の基礎を築いた。特に、  
主権の概念や、法の支配の考え方は、現代の  
政治制度に大きな影響を与えている。中世の  
政治思想は、人類の政治発展に重要な役割を  
果たしている。

中世の政治思想  
中世の政治思想は、神聖ローマ帝国の皇帝が、  
教皇の承認を得なければならなかった。これは、  
世俗権と宗教権の分離を示している。また、  
中世の政治思想は、封建制度に基づいており、  
領主と臣属の間の相互の義務関係が中心とな  
っている。この関係は、領土と臣民の交換を  
通じて維持されていた。中世の政治思想は、  
現代の政治思想の基礎を築いた。特に、  
主権の概念や、法の支配の考え方は、現代の  
政治制度に大きな影響を与えている。中世の  
政治思想は、人類の政治発展に重要な役割を  
果たしている。

中世の政治思想  
中世の政治思想は、神聖ローマ帝国の皇帝が、  
教皇の承認を得なければならなかった。これは、  
世俗権と宗教権の分離を示している。また、  
中世の政治思想は、封建制度に基づいており、  
領主と臣属の間の相互の義務関係が中心とな  
っている。この関係は、領土と臣民の交換を  
通じて維持されていた。中世の政治思想は、  
現代の政治思想の基礎を築いた。特に、  
主権の概念や、法の支配の考え方は、現代の  
政治制度に大きな影響を与えている。中世の  
政治思想は、人類の政治発展に重要な役割を  
果たしている。

